

令和6年度 使用教科用図書の採択結果及びその理由について

令和5年9月1日

教科	採択教科書	採択の理由
国語	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭の「国語の学びを見わたそう」では、言語領域ごとに整理されているだけでなく、学びの流れが構造化されているため、学び方の定着が図りやすい。 ・ これまでの学年で学習したことのつながりが構造的に示されているため、本単元で学ぶ言葉の力が明確になっている。 ・ 学習の手引きでは、上段は、学習の流れに沿った課題、下段は課題に取り組むための視点や方法が示されている。「問いをもとう」では、子ども自らが問いを持つための視点が示されている。また、個別最適な学びとなるように、課題や観点を選択できるようにしているため、自ら学びを進める拠り所となっている。 ・ どの言語領域においても、実写動画や資料動画など、ICTを活用した学びが充実している。また、他教科や日常生活に関連した資料も多数収録されている。 ・ 「情報の扱い方に関する事項」に特化した情報教材が、学習活動と関連させながら配置されている。また、情報を整理する方法や、整理した情報を伝える言葉など、学習者の学び方を支える工夫がされている。
書写	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三年生以上の各教材に学習の流れが示され、児童が見通しを持って主体的に取り組む工夫がされている。 ・ 書写学習が始まる1年と毛筆学習が始まる3年に「スタートブック」が新設され、基礎・基本的な姿勢保持、用具の扱いなど、学習者がつかみやすい。 ・ 「書写広げたい」が新設され、国語科や他教科、日常生活に関わる書写の学びが明確になり、学習者が意欲や必然性を持って取り組める工夫がされている。 ・ 筆使い、筆順など、写真や動画でも解説されており、ICTを活用した学びが充実している。 ・ 1年2年には水書用紙が収録されており、毛筆につながる学びが構成されている。
社会	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちが住んでいる地域(学区)が事例として取り扱われており、学習を進める上で、身近さ(心理的・物理的)を感じることができると考えた。 ・ 各ページに掲載されている資料については、色使いや大きさなど、見やすく子供たちの興味をひく工夫がなされている。また、学習問題の提示や重要語句の説明、単元の出口における課題設定など、問題解決的な学習を進めていきやすいように紙面が構成されている。
地図	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3学年の子供たちが「地図」に親しむことができるように、情報量を精選し

		<p>たページが設定され、段階的に指導できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地の使われ方が一目でわかるように、配色や陰影などが工夫されている。 ・自然災害や防災、歴史学習においても、より地図帳を活用しやすい内容になっている。近年に起きた災害の情報や、世界文化遺産の写真など、子供たちの興味関心を喚起する紙面となっている。
算数	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・生活場面と関連させた題材が多く扱われていたり、問題の種類が豊富であったりと、児童が主体的に取り組めるような構成になっている。また、練習問題の量が豊富であり、学習内容の定着につなげることができる考える。 ・1つの課題に対して多様な見方・考え方が掲載されており、児童がそれらに触れることで、資質能力の育成に寄与することができる考える。 ・第1学年の「すたあとぶっく」は、直接書き込みすることやブロックやおはじきの具体物を教科書上で操作することが配慮された構成になっており、入門期の学習に適している考える。 ・カラーユニバーサルデザインへの配慮がされており、またユニバーサルデザインフォントの採用により、本校の子供達にとっても、見やすく読みやすい教科書である考える。
理科	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入場面において、生活場面に近い物を取り上げるだけでなく、その取り上げているものから問題を見だし、解決していく展開によって、資質・能力が育まれる構成となっている。また、1つの問題解決したことが、新たな疑問につながる展開となっている。そのため、子供たちには、日常のふとしたことに、理科の見方・考え方を働かせて、物事を捉えたり問題解決したりすることの有用性を、この理科の学びの中で実感することができる考える。 ・教科教育において目標となるのは「資質・能力の育成」である。その資質・能力を育成する際に働かせるのが、「理科の見方・考え方」である。見方・考え方に下線が引いてあり、「各領域の見方・考え方」と「各学年で主に働かせる問題解決力」との関連が、適切に分かりやすく表記されている。 ・「子供が自分の力で考え、表現し、学びを深めていくこと」を実現するためには、考察場面においては吹き出しを活用して考察の道筋が表記され「考え方を働かせる」ということがどういうことなのか明示されており、子供が「考え方を意識しながら学習を深めることができる。
生活	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> ・「学び方のヒント」として、活動や表現の手掛かりが掲載されており、見る・作る・育てるなどの対象に直接働きかける活動や、比べる・たとえる・見通すなどの思考力が発揮される活動、言葉・絵・動作などで表現する活動が具体的に例示されている。指導にあたって、単元計画を立てる際に、この例示を単元の山場として計画の手掛かりにすることが可能である。 ・「たのしいまいにちにつなげよう」として、単元末に振り返りのページが設けられており、単元の学びを振り返るために有効な取組が段階的に示されている。自分の成長の自覚や次の探究へのつながりなど、生活科で大切にしていきたい振り返りの姿が、子供や指導者にとって見て取りやすい。

		<ul style="list-style-type: none"> ・子供にとって魅力的なイラストを使用し、イラストで興味を惹き写真で活動をイメージすることを意図した工夫が見られる。幼児期の教育や中学年以降の学習、他教科の学習などとのつながりも、イラストや写真を活用して示されている。 ・別冊資料編「ひろがる せいかつじてん」や生き物図鑑「きせつの なかまたち」が付属しており、興味・関心に応じて個別に活用することが可能である。 ・「あんぜん」「けんこう」「どうぐ」「ちかづかない」の QR コードコンテンツが掲載されており、生活上必要な習慣や技能の習熟につながる。また、ICT 機器の利活用についても、活用例や注意点が示されている。
音楽	教育芸術社	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや意図を表現につなげるための話し合い活動が設定されている。 ・音楽を形づくっている要素を中心に、各教材での学びが結び付けられるような題材構成が、系統立ててされている。 ・題材は、学年内での学習のバランスを考慮して系統立てて構成されている。子どもたちの発達段階に応じて「音楽的な見方・考え方」を働かせながら学習を積み重ねていくことができます。 ・教科書の紙面右上の二次元コードを読み取ることで、タブレット端末で学習をサポートするコンテンツ(ムーブの部屋)にアクセスすることができ、音源を確認でき、個別学習も進められるようになっている。
図画工作	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色、組み合わせ、色の明るさ、動き、奥行き、バランスなどを捉える箇所について、図や説明文、比較などを多く用いて、児童が意識しやすいように工夫がなされている。 ・タブレット PC を用いて、QR コードを読み取ると道具の使い方や技法など、動画や資料などで見ることができ、児童が学びやすいようになっている。 ・活動の場面において、児童のつぶやきを、吹き出しを用いて示すことで、児童自らが創造的に発想や構想をしていくことを意識した紙面づくりがなされている。また、一人ひとりが自分の考えを深め、他人の意見を受け入れ、新たな価値を見つけることができるように設定されている。
家庭	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のさまざまな場面を想像しやすい写真が題材ごとに掲載されていて、問題を見だし課題を設定しやすいようになっている。 ・「なぜ」で始まる言葉を多く使うことで、題材に対して疑問をもったり、問題を見いだしたりしやすいように作られている。 ・デジタル教科書が使用できるだけでなく、QR コードが掲載されていて、タブレット端末や携帯でも動画を見ることができる。家庭学習でも使えるようになっている。 ・理科や社会科、外国語など様々な教科との関連が書かれていて、他教科とのつながりを考えることができるようになっている。 ・キャリア教育、日本の伝統、プログラミング教育などの内容と関連させた資料が掲載されていて、子どもの関心を高めることができるようになっている。
保健	Gakken (学研)	教科書に示されている資料が子どもにとって適切なものであるかを中心に選定した。また、写真資料・イラストの見やすさを使われている言葉など、子ども

		<p>にとって引きつけられるものとなっている。また、「これまでの生活経験を振り返る」「経験をもとに、話し合う」「学びを生活に生かす」という授業構成がわかりやすく、他教科とのつながり等も示されており、子どもにとって保健の学習と実生活を結びつけながら、自分事として課題を捉えて解決に向かう姿を生み出しやすいと考えた。</p>
外国語	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元が,Staring Out, Your turn, Enjoy, Communication 4 つの学習活動で構成されており,学習内容の慣れ親しみから,知識・技能の習得,思考力・判断力・表現などを働かせるという段階が設定されているため,各表現の定着が図りやすい。 ・別冊のピクチャーディクショナリー及び教科書では,児童が必要に応じて QR コードで音声や映像を確認できる箇所が増えたため,自分で学習を調整するツールになると考えた。 ・各単元の終末にあるプレゼンテーションが,単元の表現を身に着けるのみではなく,互いの考えや気持ち伝え合う目的や場面,状況などが適切に設定されている。 ・写真や資料が増え,世界の文化や様子がわかりやすい。 ・教科書に多くの書き込みスペースや振り返りがあり,児童が自身の学びや成長を看取りやすい。 ・他教科で学んだテーマや,世界の文化や人権・多様性などについての内容が多く取り入れられているため,深く思考し仲間と学びあう良さを生かせる考える。
道徳	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストが大きく掲載されており,児童が興味・関心を高めながら教材に向き合うことができるようになっている。 ・主教材以外にも,様々な角度から問題を考えるための資料が各学年配置されているため,児童の見方・考え方を広げるために効果的である。 ・主な登場人物やあらすじが示されており,教材への見通しをもって理解を進めることができる。 ・いじめや情報モラルなど現代的な課題と対応した教材や,SDGs,他教科との関連のある教材が,各学年複数配置されているため,日常生活や他教科での学びとつなげながらじっくり考えることができる。 ・学びの足跡を残すための道徳ノートがあり,自分自身の成長の記録となり手元に残る。 ・道徳ノートに,友だちの考えや授業の振り返り等臨機応変に書き込むスペースが確保されており,様々な見方,考え方に気付くことができる。 ・ノートに保護者記入欄が設けてあり,道徳教育を通して,家庭と学校の連携を図ることができる。 ・教材の主人公が動画に登場したり,写真資料が充実していたりと学びへの意欲が高まり,授業が充実す QR コンテンツが豊富である。